

「今週の1枚」



エドヒガン （バラ科）

高知県天然記念物としての指定は「大藪の彼岸桜」であるが、通称は「吾川のひょうたん桜」、所在地の地名も桜となっている。開花直前のつぼみが瓢箪の形になるのはこの木だけではなく、エドヒガンの特徴である。桜の花としては地味であるが寿命が長く、それぞれの土地で大事に扱われ、天然記念物の指定樹が多い。冷温帯から暖温帯の林内に散在し、シイ・カシ林中にも多い。寿命が長く、極相の構成種と見てよいだろう。この樹も、かつてはウラジロガシ林にあったものが、開墾時に伐採をまぬかれて残ったのではないだろうか。（埴田）

（No.94 2003.3.31 掲載）